

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

Growing

 October 2016
 Vol. 50
 毎月10日発行

【今福教室】 城東区今福西 2-9-20 TEL.06-6934-4662	【今福第2教室】 城東区今福西 2-16-8 TEL.06-6931-2000
【諸口教室】 鶴見区諸口 4-14-9-1F TEL.06-6912-3984	【関目教室】 城東区関目 4-6-17-2F・3F TEL.06-6934-8117
【今津教室】 鶴見区今津南 1-6-2-1F TEL.06-6167-9722	【古市教室】 城東区古市 3-21-8 TEL.06-6931-0467



高木 秀章(塾長)

第6回教育講演会を 株式会社佑コンサルタンツアイ代表取締役 野元泰秀氏をお迎えし開催しました。

9月17日土曜日、鶴見区民センターにて教育講演会を開催いたしました。

今回は、元刑事で現在経営コンサルタントをされている野元泰秀氏を講師としてお招きし、「学校では教えてくれない、本にも書かれていない『自分でチャンスをつくるために必要な3つのこと』」と題してお話をいただきました。

氏には14年間塾塾のコンサルタントをさせていただいているのですが、私が氏に講演をお願いした理由は、その知識の豊富さや将来に対する見識の確かさだけでなく、自身が父親であり、受験を控えた多くの子供達に進路という観点でこれからの世の中について話をさせていただくと考えたこと、そして、氏が学び続けている人であり、子供達に学び続けることの大切さを伝えることが出来る人だと考えたからです。

依頼をした当初は「僕の仕事はコンサルタント。子供達に物事を伝えるのは君の仕事。」と固辞されていましたが、そこを私のわがままをお願いし、今回の講演会に至りました。

当日は鶴見区民センター小ホールにて、定員の200名を超える生徒、保護者の皆様にお集まりいただきました。この場を借りて、お忙しい中参加して下さった皆様に厚く御礼申し上げます。

1時間半にわたる講演内容については、別紙で詳しく掲載させていただきましたが、紙面ではお伝えできないこととして、講演前後の動画についてご説明しておきます。

今回、野元氏がこれらをご用意くださり、講演の待ち時間、帰りがけのアンケートを記入するわずかな時間まで、お越しくださる皆さんが楽しみ、好奇心を持てるよう工夫されました。そして、これら動画の内容が、

講演会に込められた、マンガ・映画・動画・・・、「何からでも学べ」「楽しみを持って、自分を信じて、諦めずに、前に進め!」という氏の思いを示唆する内容になっていること、そして、その配慮そのものが、講演会で話された、「準備の大切さ」を示していることも素晴らしいと思います。

実は、氏は講演終了後の動画が終わるまで、「たくさん残って見られているね。」と舞台の袖で、動画を見て残っている人たちの様子を最後まで見ておられました。

実際に会場に来られた方は、どのような感想を抱かれたでしょうか。私は最前列、卒業生の大学生に囲まれて、野元先生のお話を聞いたのですが、みんなすごい勢いでノートを書き、食い入るように聞いていたのが印象的でした。講演終了後、卒業生の一人が控室に入る前の野元先生を訪ね、「自分には夢があります。この手紙を読んでください。そして、いつか僕がその道に進むとき相談に乗ってください。」と握手を求めました。

彼の真っ直ぐな思いに、見ている私も胸が一杯になりました。

野元先生は講演で、「本当に君たちの若さが羨ましい。もしその若さと替えられるなら、僕の全ての財産も、僕の全ての人脉も、何もかもを差し出しても惜しくない。」とおっしゃっていました。若さは本当に素晴らしい。若い皆さんは可能性の塊です。私には、野元先生のお話から、若い皆さんに対する可能性と、その若さを絶対に無駄にするなという強いメッセージを感じました。先生も皆さんと共に、「楽しみながら、自分を信じて、絶対にあきらめずに、前進していきたい」と思います。



野元泰秀(のもとやすひで) プロフィール



経営(マーケティング)コンサルタント。株式会社佑コンサルタンツアイ代表取締役。1964年、熊本県生まれ。熊本県警察学校を首席で卒業。県警在職中、九州管区警察局長賞1回、県警本部長賞7回、刑事部長賞2回を受賞。その他署長賞は30回を超える。当時最年少で刑事になり、主に盗犯刑事として活躍。退職後、大型税務会計事務所へ。勤務3年後には、コンサルティング事業部長に昇格。1997年から現職。近年は、商工会議所・商工会連合会・企業における講演や、テレビ出演などで反響を得ている。著書に「元刑事が教える 心理戦で勝つ! 対人スキル」(日本実業出版社)「刑事の技術」「売れるチャンスは現場にあり!」「あなたの会社を潰さない最後の戦略」(以上、フォレスト出版)など。



CLASSROOM REPORT 教室レポート

生徒達にカンシ(監視)の目ではなく、
カンシン(関心)の目を

福井 幸司 (関目教室)

中3標準クラスの数学の授業で次のようなことがありました。

「この答えはどうして間違いになるのですか？」

生徒の指す問題を見てみると、確かに勘違いしやすい問題でした。

その時、私は「成長したなあ」と思われしました。どこに成長を感じたかという、「自分が正解だと思って書いた解答が、不正解になる理由に意識が向かっている」ということです。

- ①自分が正解だと信じていたほど根拠をもって解答した、
 - ②自分の解答が不正解になる理由に興味をもった。
- これらの2点が、これまでの彼女に見られなかった点であり、それが変化した瞬間でした。

私は、成長とは「考え方や取り組む姿勢が向上すること」と考えています。成長は「結果が出た時」に起こるのではなく、「考え方や取り組む姿勢が向上した時」に起こっています。成長を見逃さないためには日頃からの「関心の目」が大切なのです。

こんにちは、福井幸司です。今回は関目教室の状況を、副教室長である私がお伝えします。

今年は2学期中間テストの日程のズレが大きく、もうすでに終了している学校もあれば、直前である学校もあります。全員が乗り切れるまでしっかりサポートしていきます。

中間テストが終了すると言っても、中3生にとって9月から11月までの3カ月間は「テストラッシュ」の大変な時期の真只中です。ここまでの結果にもよりますが、ここからのプレッシャーはかなりのものになります。数字にシビアにならざるをえないだけに、校舎をあげて指導体制を強化しつつ、精神面でのケアも重視していきます。

小学生は勉強に対する意識の高い生徒が多く、診断テストの前となると、勉強量がアップしています。10月からは保護者の方に御足労賜り、三者懇談を実施します。

パスカル・キッズの子供達は元気いっぱい勉強に取り組んでいます。同じ教室で勉強することによって、今では学年の垣根を越えて仲良くなっています。また「ヨミキカセの日」を月1回程のペースで取り入れていて、今後とも継続していく予定です。

関目教室の最大の特徴は「生徒がのびのび勉強できている」ことだと思います。その原因となっているのは「スタッフの仲が良い」ことが大きいと考えています。私はこれまでのキャリアの中で、良い職場にたくさん恵まれてきましたが、スタッフの仲の良さは関目教室が一番だと思います。また私達をバックアップくださっている事務の方々にも本当に感謝しています。

教室長の小田先生がおおらかにゆったりと構えてくれていますので、スタッフが安心して働いていると思いますし、生徒にもその安心感が伝わっている感じがします。小幡先生

は楽しく分かりやすい授業をする実力があり、シビアに管理する厳しさも持ち合わせています。私が早くカイチに馴染めたのも、小幡先生をお手本にしたことが大きな要因です。松尾先生は今春からの新戦力ですが、パスカルから中学部まで幅広く担当し、よく支えてくれています。大橋先生は去年は個別部門で大活躍してくれました。その経験を活かし、今年度からはクラス指導を担当することになり、熱心に厳しく指導してくれています。斉藤先生は9月から関目でもクラス指導を担当しています。個別指導も継続し「二刀流」で頑張ってくれています。

個別部門は理数指導のスペシャリストで、スタッフからの信頼の高い網島先生を中心に、松永先生と古井先生が熱意を持って指導にあたっています。今年の個別部門は生徒達の仲も良く、まるでクラス指導を受けているような一体感があります。

チームワークの良さは情報共有の面でも発揮されています。私は「生徒達にカンシ(監視)の目ではなく、カンシン(関心)の目をしっかりと向けた教育」を理想と考えていますが、関目のスタッフはそれぞれが生徒達の様子に気を配れていると思います。情報を交換する中で、共通の印象を持つこともあれば、意外な一面を発見することもあります。こういう積み重ねを大切に、「みんながのびのび学べる校舎」を目指し続けたいと思います。



Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

常勤外国人講師 カトリナがカイチに!

マナロ 恭子 (トーキングキッズ)



▲関目教室LEクラス

9月半ばから、ついに常勤の外国人講師ミス・カトリナがカイチに仲間入りいたしました。これでカイチもグローバル化へと第一歩を踏み出しました。初めての社員会議では、先生達が自己紹介をしたのですが、皆“My name is …”と名前を言っただけでした(笑)。話せないわけではないのですが、ただ、恥ずかしくて名前しか言えなかった様子でした。いきなり、目の前に外国人が現れると、こうなってしまうのが日本人のようです。でも、今の子供達が社会へ出る頃には更に国際化が進み、楽天、シャープ、アサヒビール、ソフトバンクなどのように社内公用語は英語という企業が増えていることと思います。

2019年4月には、大阪南港ポートタウンに国際バカロレアを導入した公設民営の中高一貫校が開校するそうです。国際バカロレアとは、世界統一の卒業試験を受け、一定の成績を取ることで国際バカロレア機構から大学進学のための国際バカロレアの修了資格を取得することができる、国際的に認められている大学入学資格の1つです。国際バカロレアを導入した学校は大阪では関西学院大阪インターナショナルスクール、大阪YMCAインターナショナルスクール、そして関西学院千里国際高等部の3校のみ。4校目となる、南港ポートタウンの学校は、将来の大阪の経済成長をけん引するグローバル人材の育成目指し、国家戦略特別区域法における学校教育法の特例を活用した、「国際バカロレアの認定を受ける公設民営学校」として設立されます。そして、この学校を拠点校とし、大阪市の学校教育全体にその教育手法が普及されるようになるそうです。現在小学生の生徒達は今から入試に向けて頑張れば入学も不可能ではないと思います。

また、昨年度から高校入試では、TOEFLや、英検でのスコアに応じた英語の点数保障があり、「発展的問題」では、リスニングの割合が、従来の約25%から、約33%に拡大され、問題文は指示文を含め、すべて英語で作成されるなど、従来よりも高い英語力が求められます。また、私立小学校でも英語教育に今まで以上に力を入れ始め、国際コースが設立されるところもあり、中学入試では、英語を選択できる学校が増えてきています。

その目的は、「英語を流暢に話せる」ことではなく、「英語を使って何が出来るか」です。今後は「英語を話せる」だけでなく、国や宗教の違う世界の人々の考えや意見を受け入れることができる多様性や、協調性を備えた上で、英語で自分の考えや意見をしっかり主張する力が必要です。国際バカロレア認定校ではそういったスキルを身につけ、社会に貢献できる人間に成長していくことができそうです。

英語は言葉で、言葉とは人に何かを伝えるためにあります。「伝えたい!」「分かってもらいたい!」そう思えてこそ、英語に対する好奇心が湧き、学習する意味が分かるようになると思います。そのためには、なるべく早い時期にたくさんの外国人と出会うチャンスがあるといいですね。

トーキングキッズと他の英会話教室と違うところは、「生徒の話す量」と「身につく速さ」です。カランメソッドというQ&Aのドリル式英会

話は先生も生徒も終了後ぐったり疲れてしまうほど多くの言葉を使います。また、度胸がつくのもトーキングキッズの良いところの一つです。「できるだけ言わせる」「すぐに答えなければいけない」ので恥ずかしがっている暇がありません。外国人と英語でコミュニケーションをとるには、英会話の習得よりも実はこの「度胸」が大切だと私は思います。

ミス・カトリナには10月よりトーキングキッズのクラスを担当してもらい、来年度からは中学部でも開講する予定です。また、ミス・カトリナの力を借りて今後、様々なイベントや講座を開いていくつもりです。パワフルなミス・カトリナのレッスンで毎回圧倒させられながら、英語をより身近に、より使えるようにして行ってもらいたいと思っています。



名前: カトリナ 藤川

出身: フィリピン

経歴: ELT、ミネルヴァ、インターナショナルスクールのヘッドティーチャー
梅田カトリック教会インターナショナルグループの委員長を2年務める

Hello, everyone. My name's Katrina. I'm from Philippines. I'm so excited to be your teacher.

I'm fun and friendly. I'm passionate about shaping your bright young minds, so expect to learn a ton of great things. My goals to exercise your brains, improve writing skills and speaking power in English. Let's learn English in an awesome way!

皆さん、こんにちは。私の名前はカトリナです。出身はフィリピンです。私はあなた達の先生になることにとってもわくわくしています。あなた達の柔軟な脳を英語脳に形作っていくことに情熱を燃やしていますので色々なことをたーっくさん学べることを期待しててください。読み書きと会話力の力をつけ、英語脳にするのが私の目標です。素晴らしい方法と一緒に英語を学びましょう!



▲諸口教室HEクラス



▲ハロウィンパーティーに来てください!

COLUMN: 根っからのカイチっ子。でも塾が嫌な時もありました。

先生紹介 ▶ 斎藤 亮太 (関目教室)



後期から今福教室と関目教室で集団クラスを担当している斎藤亮太といいます。はじめまして。僕は根っからのカイチっ子で小

学校の低学年の頃から通わせていただき、大学受験を終えたときに川西先生から声をかけてもらって、カイチに戻ってきました。自己紹介ということなので、自分がカイチ生で、中学生だったころの話を書きたいと思います。

回りくどい言い方は好きではないので、単刀直入に言うと、中学生のとき、カイチを辞めた

かと思っていました。僕は小学校の頃にサッカーを始めて、中学生になると、カイチから少し離れたクラブチームに入りました。練習はとてもしつかったのですが、その厳しい練習が終わった後、クラブチームの友人達は着替えながら話したり、買い食いをしたりしながら、「塾とかええやん、遊ぼうや」というのですがもう授業は始まっている時間だったので、汗だくの練習着のままダッシュでカイチに向かいました。その道中ではいつも心の中で「なんでこんなしんどいことせなあかんねん、遊びたい」と思っていました。9時に練習が終わり、カイチに着くと授業が終わっているということもありました。講習期間も休むことがほとんどでした。当時はカイチがなかったら、もっとゆっくりできるのにと何度も思い、何度も辞めようと思っていました。

それでもカイチを続けてこられた一番の理由は、先生達のフォローです。どれだけ遅れて行っても「よー来たなー」と遅れた分の補習をしてくれました。当時、当たり前のように受け取っていた、宿題や一問一答や対策教材は作るのにも手間がかかります。そんな中で、カイチの先生は一人の生徒にも全力でサポートしてくれました。僕は二十歳になったばかりでまだまだ未熟者ですが、生徒のみんなと年が近い分、生徒だった時の気持ちと近いものを持っています。他のカイチの先生方と同様にみんなの頑張りを後押しし、みんなが塾に来る間は少しでも勉強に対して前向きになれるように頑張りたいと思っています。みんなの気持ちに寄り添いながら、先生としての気持ちを伝えていけたらと考えています。

拙い文章ですが最後まで読んでいただいてありがとうございました。

岡本の
ちょっと イイ話

TEACHER'S VOICE

岡本 泰行 (今津教室)

秋風が気持ちのいい季節になってきました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。季節の変わり目で風邪などを引いていないでしょうか。

さて、今回はカイチにとって大きなイベントがありました。9月18日(日)に熊谷真宏先生の結婚式が行われました。当日は台風などで天候が心配されましたが、台風も空気を読んでくれて、大した影響もなく2人の門出を祝福してくれたようです。

さて、結婚式・披露宴ですが、たくさんの方が集まり、盛大に盛り上がりました。ブーケスでは、私、岡本がブーケを取り損ねるという失態をおかしたり、新婦のドレスの色当て大会では、ピンク・青・黄色の選択肢から選ぶのですが、正解のピンクはカイチの先生達は誰も選んでいなく全員外してしまいましたが、最後の抽選会でなんと坪田先生が特賞を当てました!今までの生い立ちや、プロフィールが映像で流れて「美男美女やな〜」と声が上

がるなど、とても楽しい時間が流れました。最後の両親へのビデオレターや、熊谷先生の挨拶などは、涙が出てしまいそうな感動的なシーンです。私は涙をこらえながら横にいた福井先生を見ると、新郎の熊谷先生以上に大号泣していました。本当に2人から両親や、家族に対する感謝の心が会場にいるみんなに伝わる素晴らしい結婚式だったと思います。最後になりましたが

ご結婚おめでとうございます。これからも末永く幸せにお過ごしください。

カイチからの
お知らせ

- 10月16日(日)は五ツ木の模擬テストの受験日となっています。
- 10月23日(日)は珠算1級~3級の検定試験です。22日(土)は直前練習を行います。時間は授業内で告知します。
- 10月30日(日)は珠算段位検定試験です。10月29日(土)は直前練習を行います。時間は授業内で告知します。
- 11月12日(土)は中学3年生対象に進研模試を実施します。